

特許	登録日 登録番号	発明等の名称	出願日 出願番号	(上段) 共有会社
				(下段) 当社発明者
概要				
特許	H25.7.19 5319257	移動体通信設備検査システム	H20.12.5 2008-311575	アートシステム(株) (広島支社)伊藤 公一
高速移動体通信システムにおいて、通話メリットの検査を行なうが、従来通話メリットは個人の音感にゆだねられていた。この個人差があった通話メリット測定を自動化し、長時間連続業務による測定員の業務改善と測定の誤差を軽減するために技術開発を行なった。				
特許	H25.7.26 5324860	エレベータ用敷居溝清掃装置	H20.8.12 2008-208218	フジテック(株) (車)千田 光雄 (岡山支社)石田 悟
駅舎のエレベータでは多くのお客様が毎日利用されることから、万一の事故を防止する為に、エレベータドアの敷居の埃や小石が蓄積しないように、エレベータのドアの開閉に併せて敷居を清掃するブラシを開発した。				
特許	H25.8.2 5328314	高速鉄道車両用スノーブラウ	H20.11.20 2008-297332	(公財)鉄道総合技術研究所 (車)眞下 伸也
豪雪地帯における、積雪量が多かつ雪密度の大きい積雪に対しても、排除した雪が対向列車や地上設備に影響を与えることなく、線路上からの排雪を効果的に行なって、高速鉄道車両の自力排雪走行を可能とするスノーブラウを開発した。				
特許	H25.8.2 5331815	鉄道車両の構体構造	H22.4.21 2010-532770	川崎重工業(株) (車)松岡 成康、城戸 宏之、林 太郎
車体の車幅方向両端部に夫々位置している側外板と、車体の長手方向両端部に夫々位置している妻外板と、車体の四隅に夫々位置し、隣接する前記側外板と前記妻外板とに接合されている隅柱とを含む妻構体と、前記隅柱より長手方向及び車幅方向外方に配置されているガイド部材とを備え、前記ガイド部材は、前記隅柱の長手方向外方において前記側外板に向かって長手方向内方に傾斜している傾斜部と、該傾斜部に繋がって長手方向に延在し、前記側外板の前端部を覆う被覆部とを有している、鉄道車両の構体構造。				
特許	H25.9.13 5360747	レグレスト装置およびシート	H20.10.10 2008-264334	コイト電工(株) (車)中山 耕介
駆動源を用いることなくレグレスト本体が自動で収納できるため、停電時におけるレグレスト収納作業が容易になるとともに、腰掛方向転換作業も非常に容易となる装置を開発した。				

